

コミュニティ・スクール松原小学校の共育目標（教育目標）

松原を愛し、心豊かに生きる子どもの育成

【めざす学校像】

- 1 つながりあう学校
- 2 落ち着いた静かな学校
- 3 地域と共に成長する学校

【めざす教師像】

- 1 子どもを認めて、ほめて、励ます教師
- 2 チーム力と組織マネジメントを発揮する教師
- 3 自己研鑽に励み、信頼される教師

学 校

つながりあう学校

【めざす子ども像】

- 1 松原を愛する子ども
子ども達が住んでいるこの松原校区に愛着を抱くことができる子ども
- 2 心豊かな子ども
美しいものに感動し、常に生きることの喜びと感謝の気持ちに満ち
明るく、前向きに、たくましく生きようとする子ども

家 庭

基本的な生活習慣を身に付ける家庭

地 域

子どもにかかわり共有する地域

学校・家庭・地域の指導理念 「子どもを認めて、ほめて、励ます」

「松原を愛する」とは、子ども達が住んでいるこの松原校区に愛着を抱くことである。松原校区には「盆綱曳き」（久富観音堂）や「鬼夜」（熊野神社）の伝統行事や久留米餅の伝統工芸、そして多くの神社・仏閣がある。また、自然に恵まれており、米・麦・イチゴ等の作物を栽培している農家も多い。このような松原校区の「もの・こと」に関わる活動を通して、「人」とふれあいながら、松原校区を愛する子どもを育てる環境づくりを行うことが大切である。

「心豊かに生きる」とは、美しいものに感動し、常に生きることの喜びと感謝の気持ちに満ち、明るく、前向きに、たくましく生きようとすることである。「豊かな心」は、自分を大事にすると同時に他人を思いやる心でもある。そして、ルールやマナーを守り、社会に貢献しようとする実践的な力の基礎にもなる。時と場所を上手にわきまえ、他人の立場や心を十分に尊重できるような判断力と行動力に支えられて、はじめて「生きる力」は本当の力となるものである。